

2011年8月23日

企画委員会 伊藤

## ロードマップ会議開催ご報告

8月20日（土）にロードマップ会議を開催しましたので概要をご報告します。

場所：慶應義塾大学日吉キャンパス協生館6階

参加人数：9名

### 会議次第

#### 1 従来のロードマップ会議実績説明

2007年8月にテーマとして、学会定款2条見直、学会と社会とのかかわり方と情報システムに関する認識を討議。2008年8月テーマ：学会の理念、社会保険庁記録問題を討議した。過去のロードマップ会議で討議した「学会の理念」を2009年5月30日に制定、学会と社会とのかかわり方については「社会への提言」活動で実施した。

情報システムに関する認識については「新情報システム学調査研究会」を発足させ検討中である。社会保険庁記録問題は、2007年9月に検討プロジェクトが発足し2009年1月に検討結果レポートをプロジェクトチームが公表した。

#### 2 本日のロードマップ会議討議概要

ロードマップ討議の参考として日本数学会が公表したロードマップが紹介された。「数学」は伝統ある学問なので、当学会としては安全・安心等の項目を参考として行く。また、日本学術会議から「情報学の展望」が昨年、公表されているが予算獲得が主目的なので大型プロジェクトが記載されているが直接的には参考とはならない。

中長期ビジョン目標として、「社会・他学会において当学会が考える情報システムが認識されている」状況の実現には、当学会が考える「情報システム」について体系的な学問として概念スキーマ等の考えを取り入れた取り組みが必要である。「学会の理念」中に、「人間中心の情報システム」とあるが、他学会には無い当学会として強調すべき良い点と考えるので、是非この解釈が理解しやすい様に具体的な内容で社会へ提言すべきである。

当学会が「情報システム専門家集団」として社会へ認知されるためにも専門家集団を必要とする具体的な事例を継続検討すべきである。会員数増については時限を設けて増加させる考え方については、当学会が成果を多く出すことが会員増につながる点を意識し活動をすべきと意見があった。また、中長期的に財務基盤を強化するためには収益事業も検討すべしとの指摘もありました。討議は以上です。

今後、当日のご討議をベースにロードマップ検討を継続したいと考えます。ご意見等がありましたら企画委員会までお願いします。